

REP-# 131 モリタル



経年と海水による腐食によって、数箇所船のデッキハッチ用油圧ラムの頭部のクロムメッキコートが剥げました。再メッキをしないで、モリタルを用いて再生されました。まず腐食した部分を機械加工して、モリタルを適用し養生後、元のサイズに調整されました。270kgの重量のかかる直径125mmの油圧シリンダーは、280kg/cm<sup>2</sup>の作動圧と635mmのストロークが要求されます。補修後5年経過時のテストでは、大変満足な状態で完全に機能を果たしていました。